

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 69 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2021 年 9 月 16 日 (木) 9:00—10:00

2. 場所: Web 会議 (Webex)

3. 出席者: 岡本主査, 松原福主査, 田中幹事, 青井, 紅谷 (生駒代理), 石原, 工藤, 黒川, 小山,
佐藤, 田村, 鳥居, 仲田, 西村, 深田, 堀川, 見上, 山本
(欠席: 佐藤, 杉山, 中村, 目黒) (敬称略)

4. 配布資料

R3SC-69-1 人事案件 (配布なし)

R3SC-69-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 68 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)

R3SC-69-3-1 基本安全机上 第 84 回標準委員会中間報告の概要及びその対応

R3SC-69-3-2 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準: (案)

R3SC-69-3-3 “発電用原子力施設の廃止措置の計画: 20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応について

R3SC-69-3-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の策定基準: 20XX” 完本 (案)

R3SC-69-4-1_廃止措置安全評価基準審議概要(第 69 回)

R3SC-69-4-2_廃止措置安全評価基準(案)中間報告(標委)

R3SC-69-4-3_廃止措置安全評価基準案_完本版

R3SC-69-4-4_安全評価基準新旧対比表(第 69 回分科会用)

R3SC-69-4-5_別紙-2_標準委員会審議の役割, 確認すべき事項等の説明 (廃止措置 安全評価基準)

5. 議事

(1) 出席者/資料確認

開会時点で 16 名 (2/3 以上) の出席があり, 分科会は成立している。

(2) 【審議】人事案件

(人事案件なし)

(3) 【審議】前回議事録確認

事前を送付している議事録案について, 承認された。

(4) 廃止措置の基本安全基準(案)の審議

① 資料-3(R3SC-69-3-1)に沿って基本安全基準の9/1標準委員会報告/審議の内容の説明があった。

② コメント対応案に関する審議の結果は以下のとおりである。

- ・「廃止措置の目的は廃止措置を終了することである。」の文章表現の見直し要求に対する修正案のうち、最終文節を「合理的で可能な限り短い年限で廃止措置の事業を終了することである。」から「廃止措置を合理的で可能な限り短い年限で終了することである。」に修正することとなった。

③ 基本安全基準の今後のスケジュールの説明があった。

- ・ 2021/9/22: 標準委員会山本委員長への説明

- ・ 2021/11/5：専門部会本報告（30日間投票／意見募集）
 - ・ 2021/11/10：原子力安全検討会への報告（意見聴取）
 - ・ 2022/3/B：標準委員会本報告（30日間投票／意見募集）
- ④ 基本安全基準(案)について、本報告に向けたエディトリアルな内容のチェックを分科会委員に依頼した。

（５） 廃止措置計画策定基準(案)の審議

- ① 資料-5(R3SC-69-3-3)に沿って、廃止措置計画策定基準についての9/1標準委員会報告／審議の内容の説明があった。
- ② コメント対応案に関する審議の結果は以下のとおりである。
- ・ 標準タイトルについて「廃止措置計画策定基準」に「の」を入れた方がよいとのコメントに対して、「廃止措置計画」は法令用語であり申請書を意味するが、「廃止措置の計画」にすると申請書以外の計画も含まれることになる。よって「の」は不要とすることとなった。
- ③ 今後のスケジュールは基本安全基準と同じ。
- ④ 廃止措置計画策定基準(案)について、本報告に向けたエディトリアルな内容のチェックを分科会委員に依頼した。

（６） 廃止措置計画の安全評価基準(案)の審議

- ① 資料-7(R3SC-69-4-1)に沿って、廃止措置安全評価基準(案)についての9/1標準委員会中間報告／審議の内容の説明を行った。
- ② 上記に合わせて、資料-8(R3SC-69-4-2)で中間報告内容の紹介、資料-11(R3SC-69-4-5)で標準制定の必要性、審議の経過、最新知見／海外基準の適用などについて説明を行った。
- ③ 審議内容は以下のとおりである。
- ・ 標準タイトルが「廃止措置計画の安全評価基準」となっているが、廃止措置計画をチェックする基準に誤解される可能性があるため、「廃止措置計画における安全評価基準」とした方がよいとのコメントに関し、コメントを反映する理由を説明し了承された。「おける」が2回続く文章については見直しを行う。解説については文章がわかりにくくなる箇所に関しては反映しないこととなった。
 - ・ 安全評価基準を基準(Code)とするか指針(Guide)とするかについて、どう考えるかを問われ、本文（規定）では安全評価に対する要求事項を示しておりCodeに該当する。附属書（参考）では具体的な評価モデルなどを示しておりGuideに相当する。本文（規定）がメインであることからCodeが適切と判断していると回答。日本原子力学会の標準体系はCodeとGuideが一緒になっており、IAEAの体系とは異なるが、日本式で整備を進めることとなった。
- ④ 今後のスケジュールは、次のとおりである。
- ・ 2021/9/3～10/2：標準委員会30日間意見募集期間
 - ・ 2021/10/21：第70回廃止措置分科会審議
 - ・ ・ 標準委員会意見募集コメント反映版の審議
 - ・ 2021/11/10：原子力安全検討会への報告（意見聴取）
 - ・ ・ 可能な限り標準委員会意見募集コメントを反映した内容で報告する。

- ・ 2022/2月：専門部会
 - ・ 標準委員会意見募集コメント反映安全検討会意見反映案の審議
- (7) その他
 - 次回分科会：10月21日 13:00から

以上